

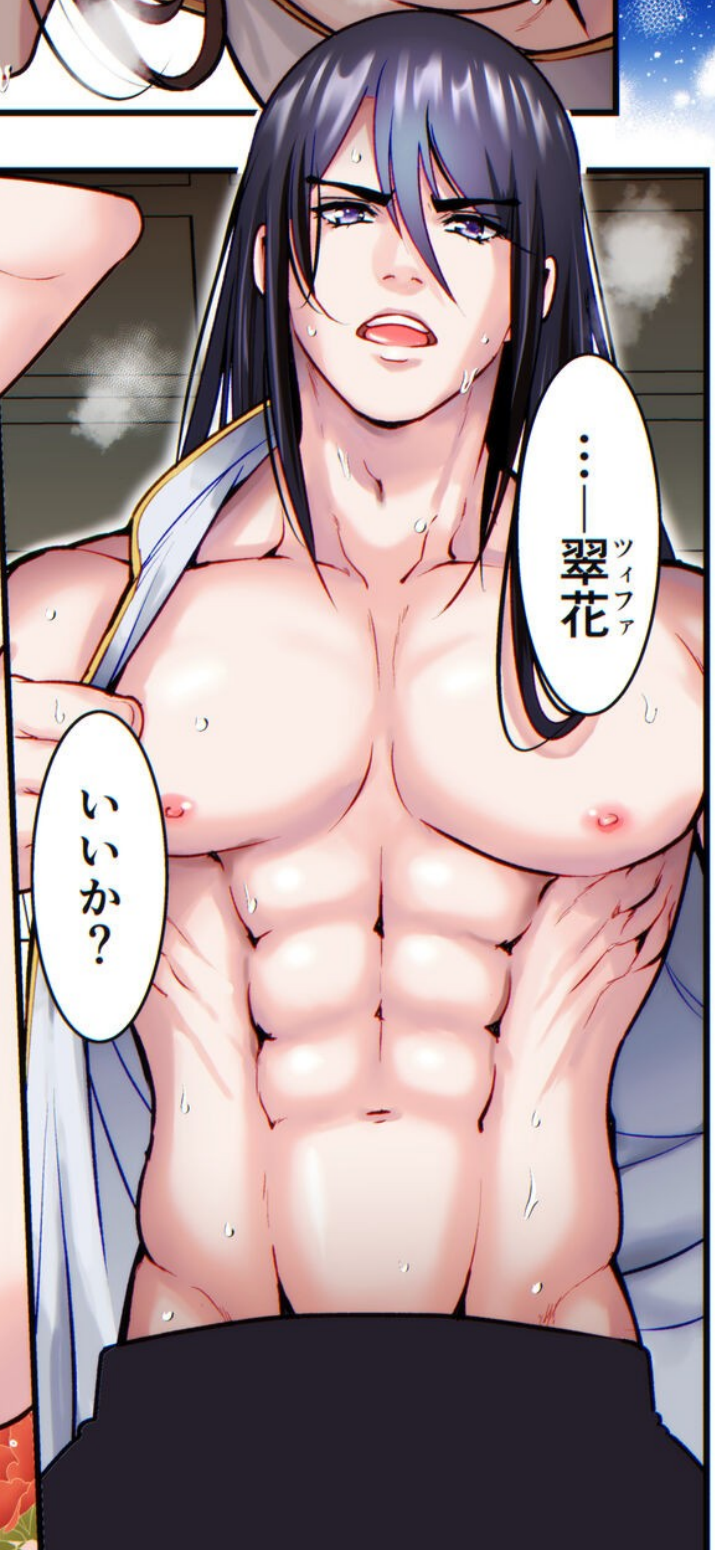
成人向

最強美少女の筆下ろし

玉姫なお

Jewelrybox presents







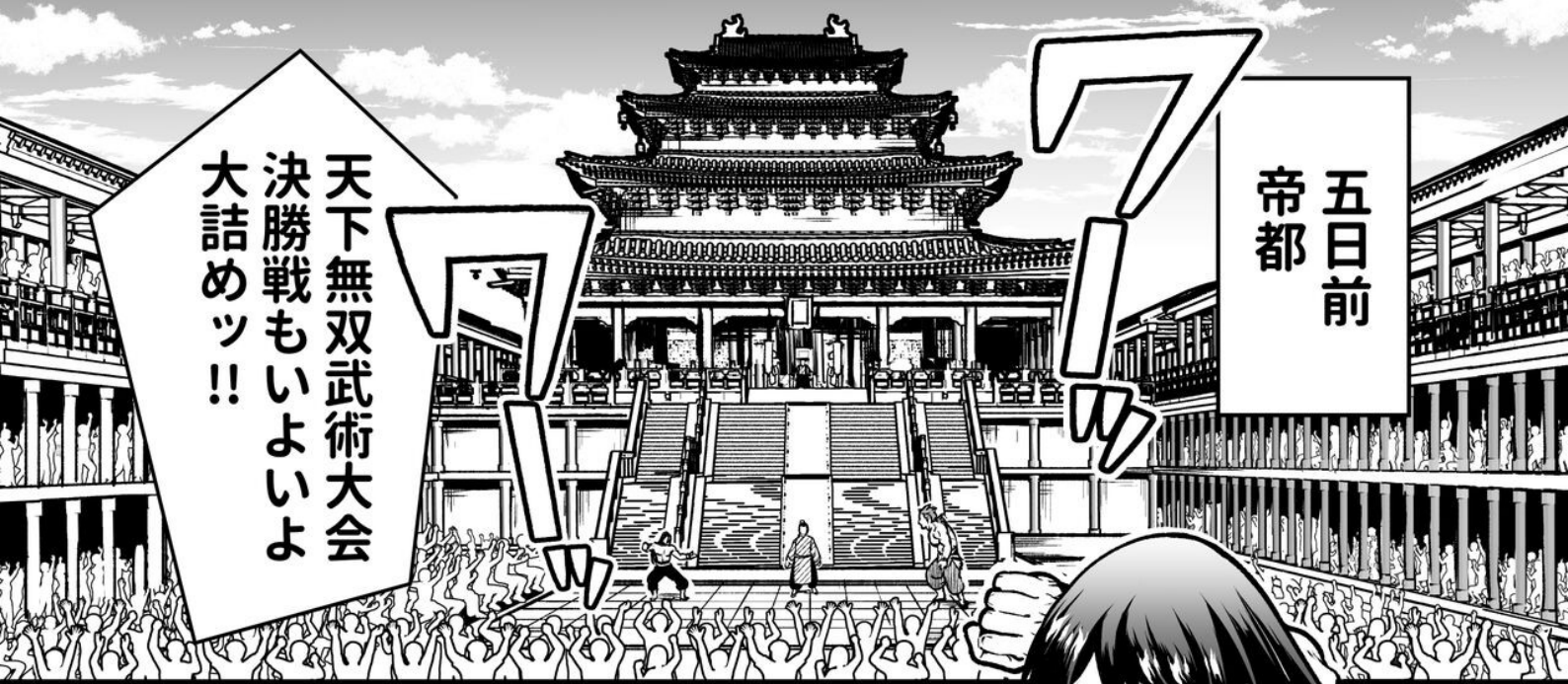
強く美しい小龍様



貴方のためなら
私はこの身を……

五日
前
帝都

天下無双武術大会
決勝戦もいよいよ
大詰めッ!!



…これで

破竹の勢いで
勝ち上がったきた
虎殺しの泰然選手か



終わりだ
ああッ!!!



勝利するのは
大会四連覇
小龍選手かッ

優勝は小龍選手ツ
五連覇達成ツツ!!!





優勝おめでとう
ございます！

強さの秘訣は
なんでしょう？



小龍様
さすがです！



老子様の教えと
日々のたゆまぬ鍛錬の
おかげだと思えます

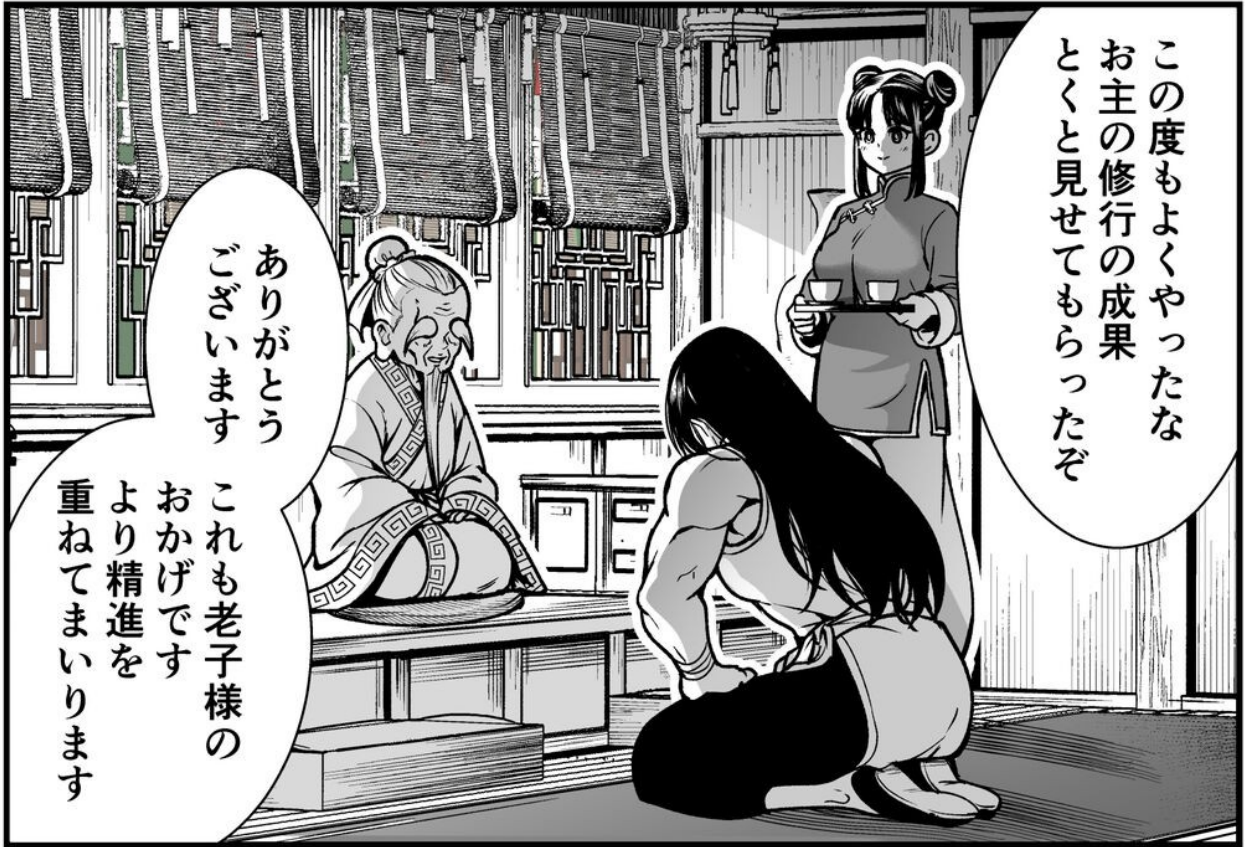


英姿颯爽
才徳兼備

これぞ
無敵の小龍！！



小龍



この度もよくやったな
お主の修行の成果
とくと見せてもらったぞ

ありがとうございます
ございます

これも老子様の
おかげです
より精進を
重ねてまいります



内丹とは

さらなる高みを
目指すため

内丹ないたんを取り入れて
いくのがよからう

うむ
そのこと
なのだが！





儂が教える武術は
森羅万象に満ちる
気をとらえ
それを力に変えるもの

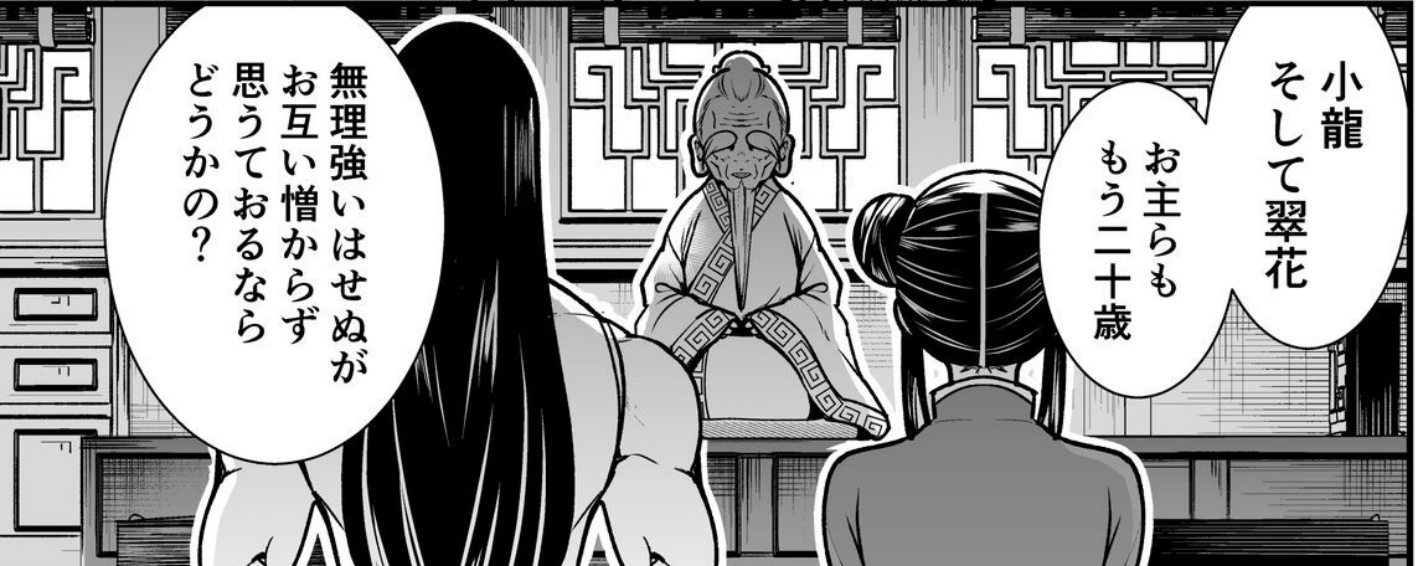
この世の真理
道へと繋がる
一つの手段

男女の交わりの ことである



また内丹も男が持つ陽の気
女が持つ陰の気を交感し合い
心身を活性化させていく

道を究めるための
重要な要素じゃ
真髄を体得すれば
武の道にも役に立つ



小龍
そして翠花

お主らも
もう二十歳

無理強いはせぬが
お互い憎からず
思っておるなら
どうかの？



わッ

翠花

私でよければ
喜んでツツ!!

俺の相手をして
くれるだろうか?



ツツツツ



私が小龍様と
出会ったのは
小さい頃! :



村に帰り次第
仲良く
励むんじゃぞ

はい!



お父さん
あそこ！
人が
流れている



親に助けられ一人難を
逃れたのだという

助け出したあと事情を聞くと
住んでいた村が盗賊に襲われ
村人全員が殺されたなか



川に流れていた男の子
それが小龍様だった



俺は
強くなりたい

誰かに
守られるんじゃない
誰かを守れる
強い男になりたい!!



父さんも母さんも
きつともう...

それから小龍様は
名を馳せた格闘家だった
老子様に預けられ

私の住む村で
暮らすようになった



あの子がどうしているか
気になって
何かと理由をつけては
庵を訪ねているうちに



老子様が私を
小間使いとして
雇ってくれる
ことになり



ずっと傍に……



それ以来



：なあ
俺たち同い年だし
様なんかつけなくて
いいんだぞ

いえ！
老子様の
お弟子様ですし

大人も逃げ出すような
厳しい修行をしている小龍様を
私尊敬しているんです！



小龍様
手拭いをどうぞ

ありがとうございます
翠花



わかった
なら俺はその敬称に
恥じない人間になれるよう
努力する



それにお話の中の
美丈夫みたいに
かっこいいし…

え？



とにかく
私がそう呼びたいので
このままで！！

私はあの頃から
小龍様が好きだ



そんな気持ちには
迷惑だろうし
怖くて言えない

内丹の相手選ばれたのは
身近な女の子が
私だったからだろう



小龍様の求めるものは
あくまで
強さと道の探求

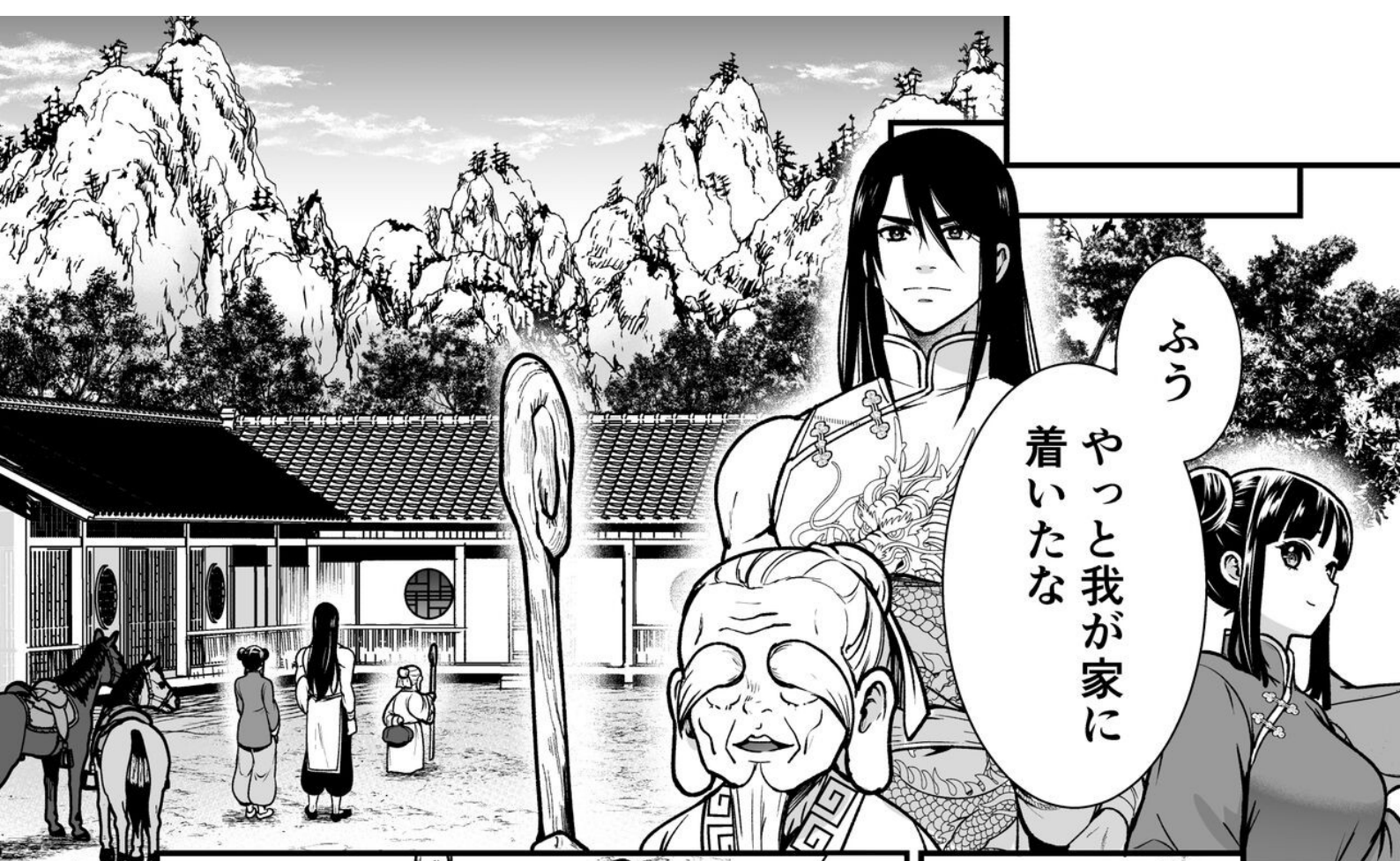


その役に立てるなら
私の気持ちなんて
小さなことだ



恋をしてる





ふう

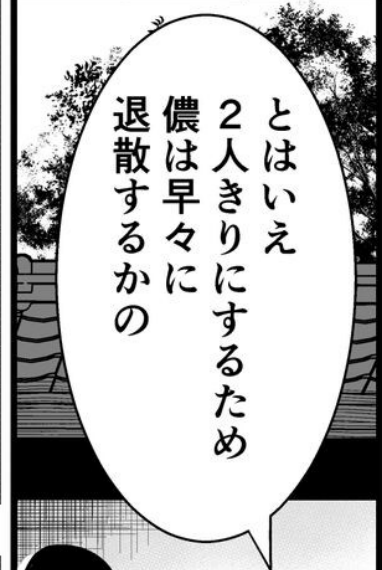
やっと我が家に
着いたな



翠花

これは避妊の秘薬
そしてこちらは
滋養強壯薬に潤滑油

あとは内丹の為の
衣装が入っている
必要に応じて
使うのじゃぞ



とはいえ
2人きりにするため
儂は早々に
退散するか



小龍

翠花は生娘じゃ
内丹に夢中にな
り過ぎて
無茶をさせるで
ないぞ

はい
承知しました





.....



では
ごゆっくりの

農は借りた馬を返して
のんびりしてくるわい



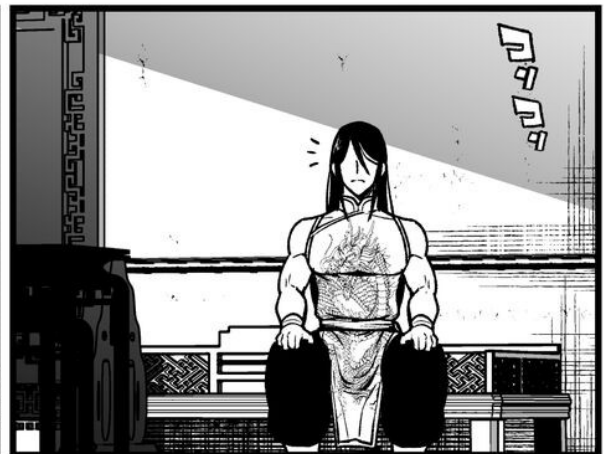
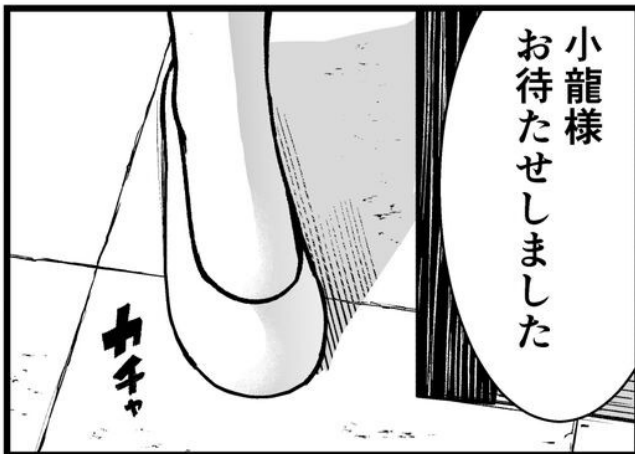
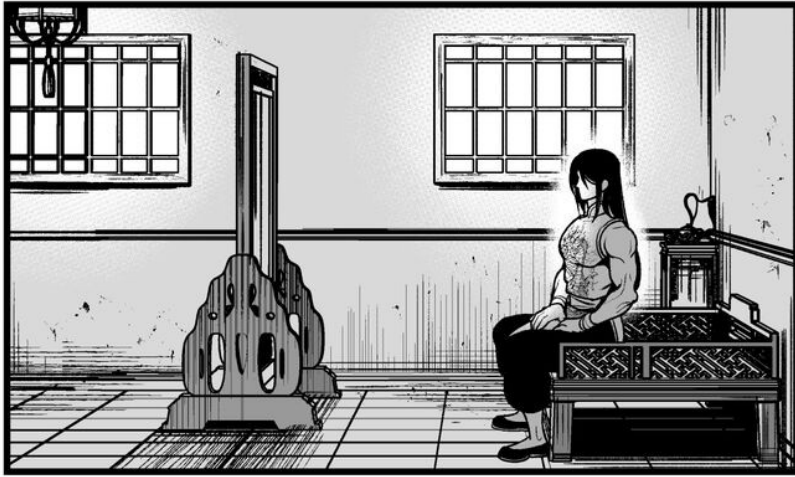
ああのっ私
とりあえず
準備してきます

小龍様は
お部屋で待ってて
くださいっ!!



翠花







老子様は
なんて服を…ッ

やっぱり
似合わないですよね
すみませんっ!!



先程いただいた服を
着てみたんですが…

おちこ



…いや

似合っている

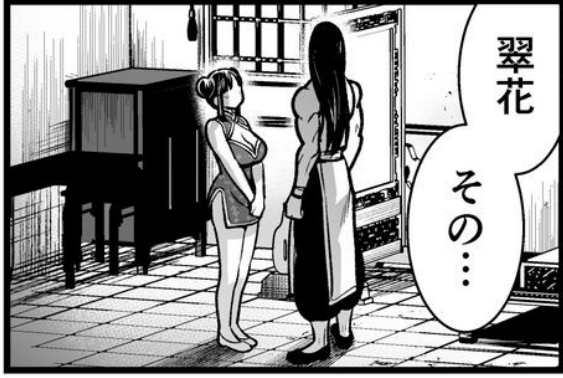


とても綺麗だ

おちこ



!!!



翠花

その…



触っても
いいだろうか？



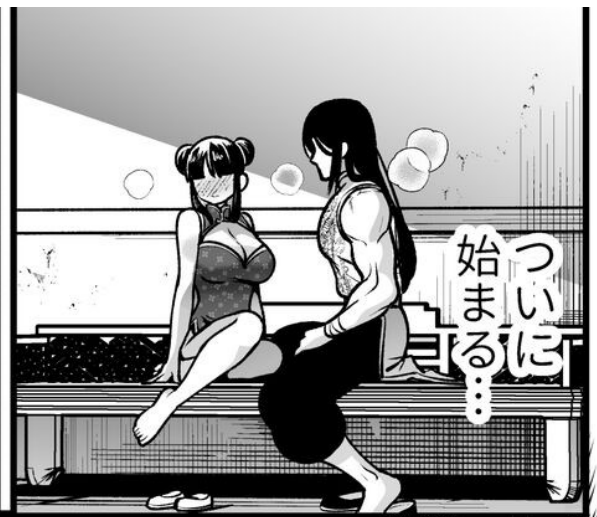
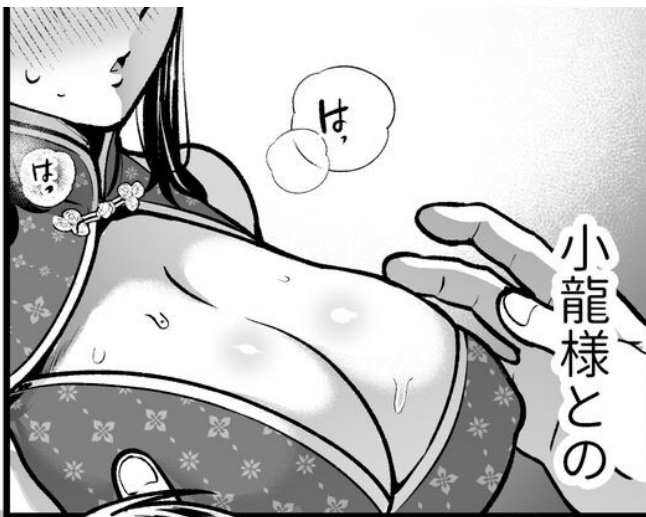
嬉しくて
それだけでもう…

小龍様に綺麗って
言われた…



はい…

小龍様の
お好きにして
ください…♡





気に入って
くれたなら
嬉しいで…



あーあー
きゅん



…柔らかいな

クセになる
触り心地だ



乳首：服の上から
クリクリされてる



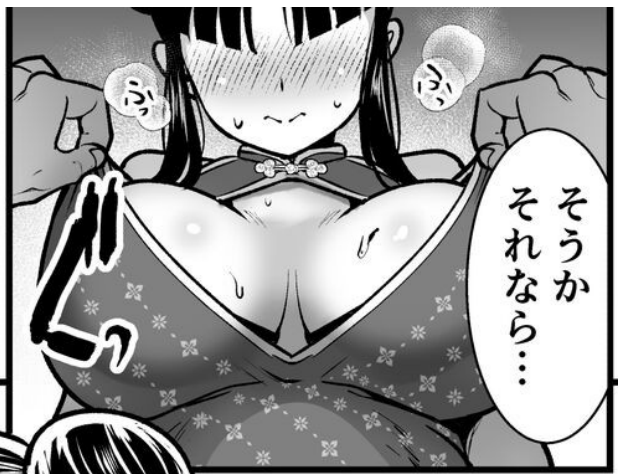
もしかして
興味津々!?

はあ
…よかったら
脱がして
直接触っても



こねくり
回して

こんなに
つねって



この食感…
素晴らしいッ

素晴らしいぞ
翠花ッ!!

ずっとしゃぶって
いたくなるッ
これぞ女体の神秘!!

んあ♡

武術の天才は
内丹も天才…!!

でも無意識に
そして的確に
性感帯を探り上げ

小龍様
赤ん坊みたいに
夢中で吸ってる

私を
攻めてくる様は
武人のそれ

んあ♡

んあ♡





私……



小龍様の唇は
薄いけど
舌は分厚くて

舐めるのが
とってても上手



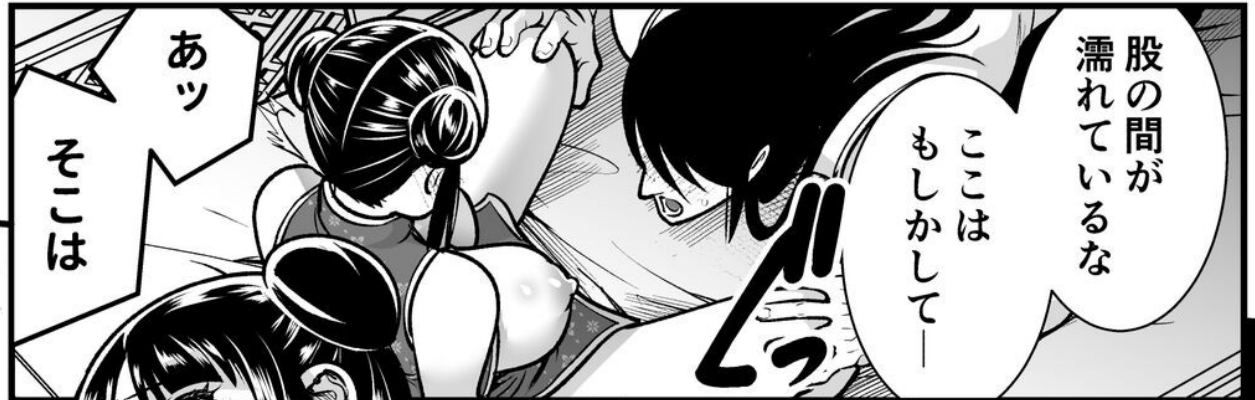
あ
また胸を
触ってる

胸が大好き
なのかな



口付けで頭が
ぼうっとして

胸も
キモチくて





なんと
不思議な形…



この露が
湧き出してくる所が
俺のモノを挿入る場所



この豆のような
所は…?



そこは男の人の
おちんちんみたいなの
所で…

なるほど



小龍様ったら
すぐに
舐めちゃう

汚い所なのに
隅々まで
べろべろ…!!



ここはよく
ほぐすよう老子様に
教えられたからな

小龍様の指
長い...!!

じっくり
丁寧

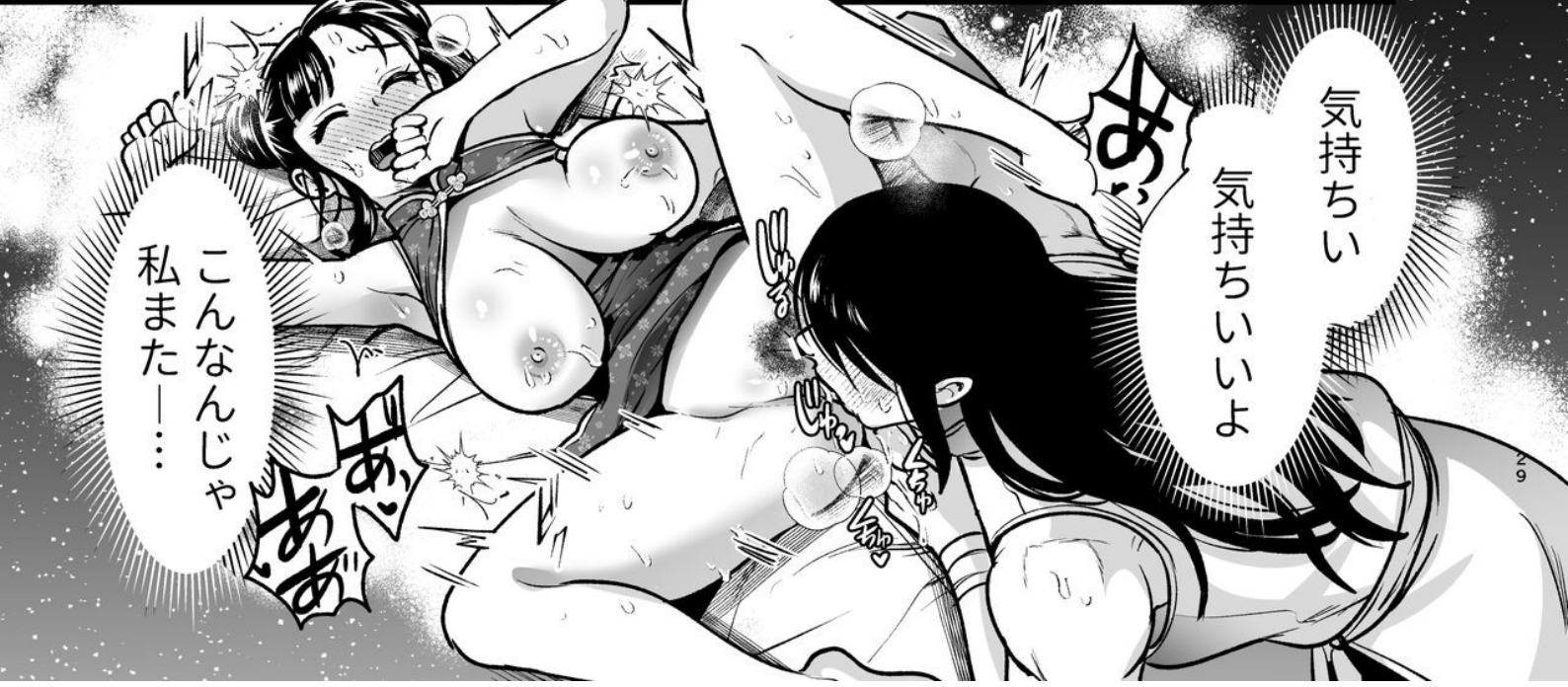


突かれる
加減も場所も
最高すぎて

ヒクヒク
しているな
こっちも
弄って
ほしいか?



あー♡♡♡♡♡



こんなんじゃ
私また...!

気持ちいいよ





ゴ立派

すごい…
長くて太い



強くて美しい小龍様

その分身も…



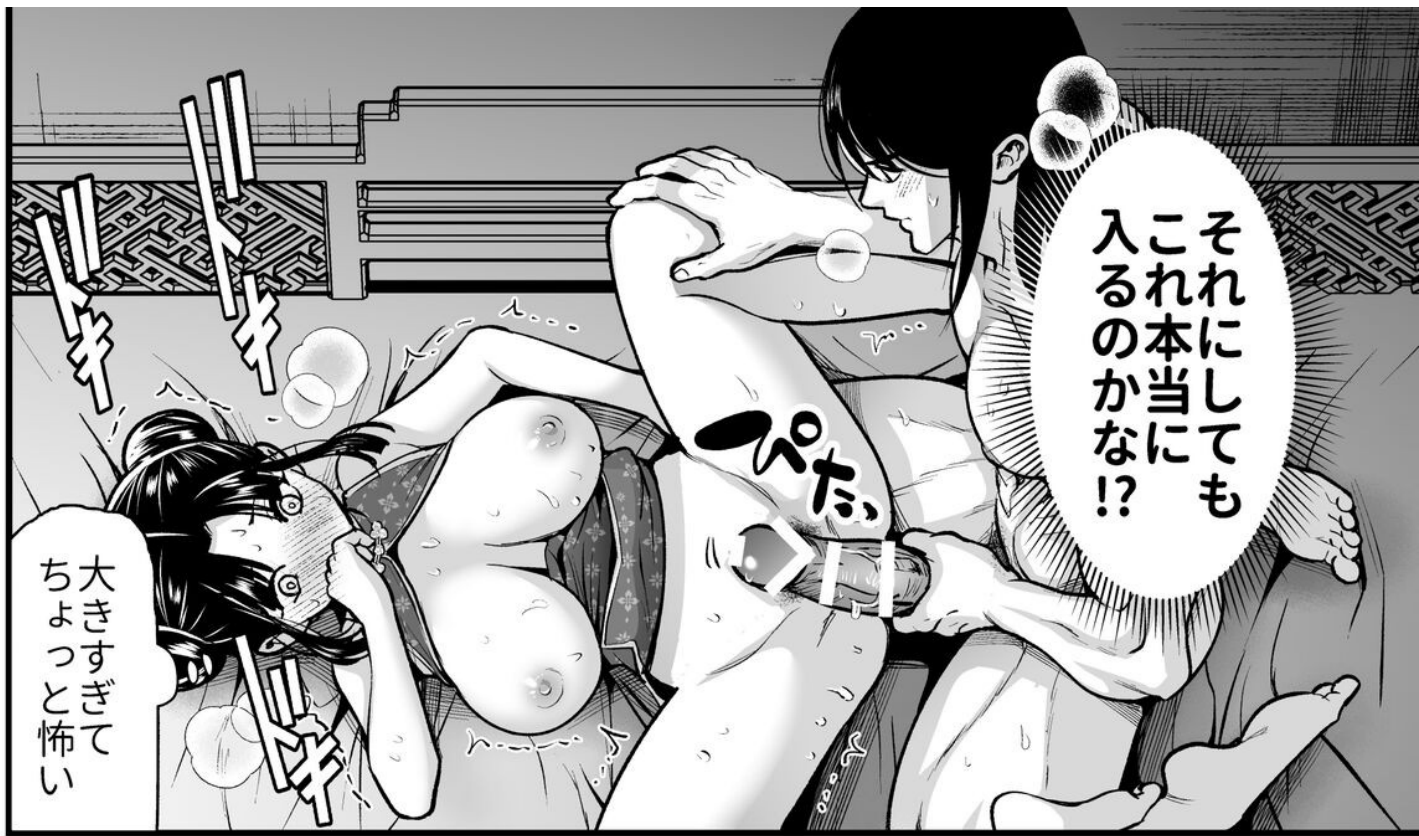
…翠花

いいか？



はい…

小龍様



それにしても
これ本当にも
入るのかな!?

大きすぎて
ちよっと怖い



私は
この身を...

でも
貴方のためなら



入口
くちゆくちゆ
こすれるの
気持ちいい♡

...翠花
挿入るぞ

はいっ!



やっぱり大きくて
異物感がすごい

痛いよ

入ってきた

ぐちゃ

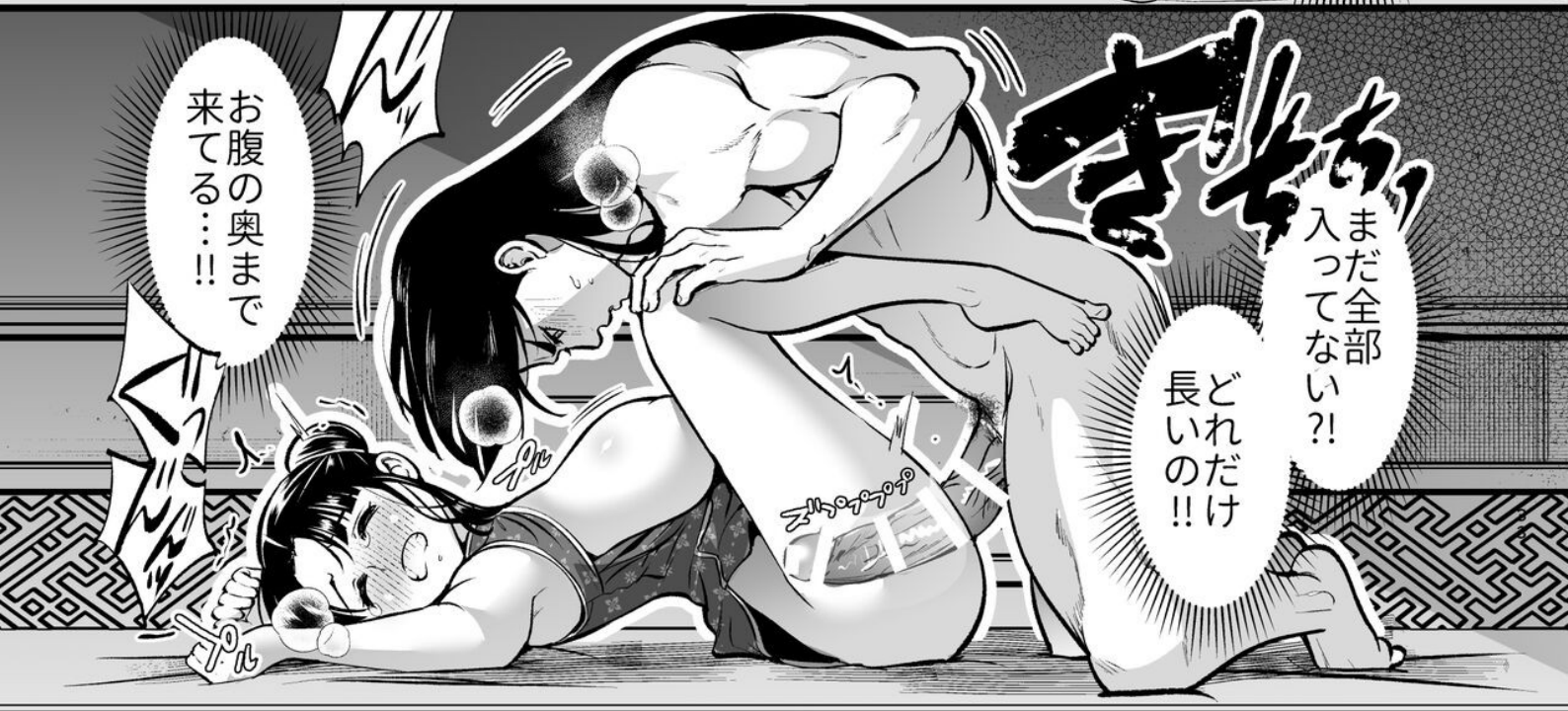


どんどん
入ってくる

小龍様は
気持ちいいのかな？

ぐちゃ

あは



お腹の奥まで
来てる...!!

まだ全部
入ってない?!

長いだけ

ま

ぐちゃ



全部
入った!?



これは…
なんと
いう感覚!!



あ
あ
あ
!!



生命力が沸き上がり
活力がみなぎってくるッ

これが内丹ツ!!
道に近づく
陰陽の交わり!!



快感が会陰・仙骨を通り
玉枕から百会に突き抜ける



中が熱くうねりながら
挑むように
締め上げてきて



破瓜の痛みは
辛いだろう

確かに
痛いんですけど...



翠花



...小龍様が
喜んでくれて
私も嬉しいです



ありがとうございます
翠花

俺でよければ
いくらでも
触れるぞ



こうして小龍様に
触れられてみると
平気です

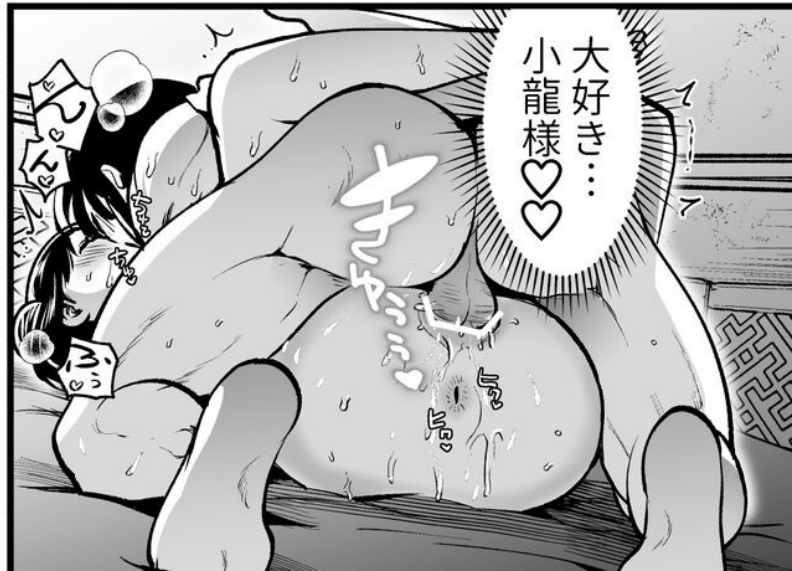


小龍様のナカで
大きくなった!?

私で興奮して
くれたなら
嬉しい!♡



翠花お前の中は
締まりが
良すぎるな



大好き:
小龍様♡♡



浅く...



深く



時々奥へ



基本は
九浅一深と聞く

入口付近を
ゆるく突いて



少し動いても
いいか?

...はいっ



なにこれ

快感が波のように
押し寄せてくる



…では
遠慮なく

お腹の中
押しつぶされてる

欲望のまま
ガンガン突かれて

私もどんどん
本能のまま…

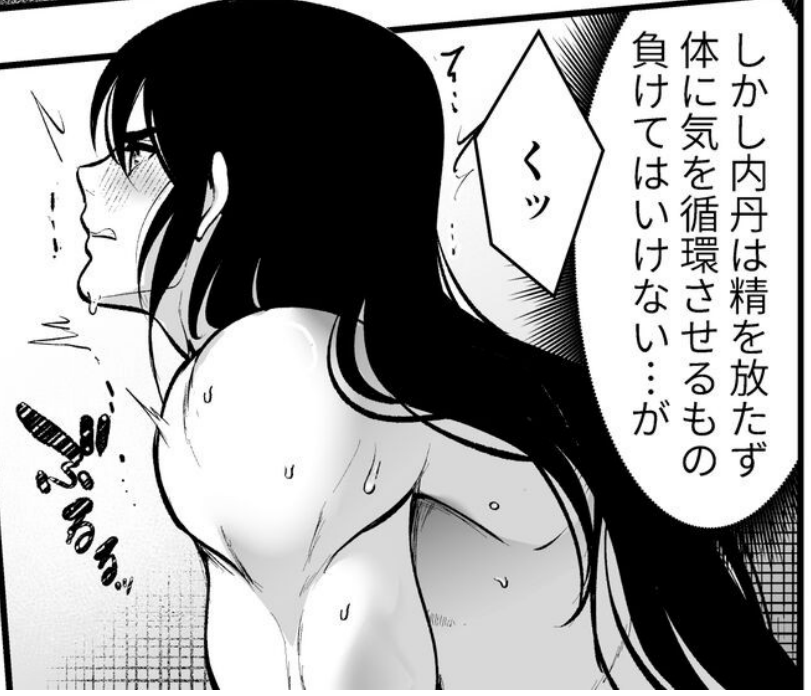
小龍様のおちんちん
大き過ぎるッ♡♡♡



只の雌になっ
ちやうツ♡♡♡



翠花の膣内ナカ
なんという
締め付けッ
子種を搾り取り
孕みたがっている



しかし内丹は精を放たず
体に気を循環させるもの
負けてはいけない…が



小龍様

出るッッ



俺も
まだまだ未熟...

もっと修業
しなければ

それって
つまり...



すまない
汚すつもりじゃ
なかったんだ



さつき出したばかりなのに
もうあんなに…



初めてのことで
体は疲れているし
またあんなに
気持ちよく
なるのは怖い…

でも



獲物を狙う
獣の眼：！！



まだ続けて
いいか？

はぁっ

はぁっ



ありがとう
翠花

んっ♡

じゃあ
今度は後ろから

えっ

あのっ



…満足いくまで
お付き合います

小龍様が望むなら…!



いきなりきた
ツツ♡♡♡♡♡

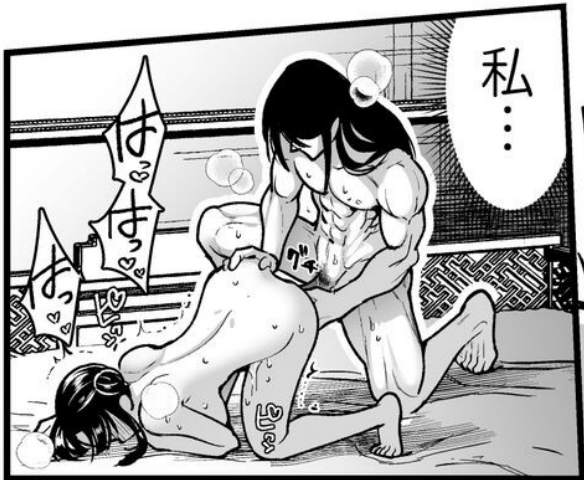
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡



まるで
獣の交尾なのに
感じちゃう



さっきより
奥に入って
お腹のナカ
かき回されてる



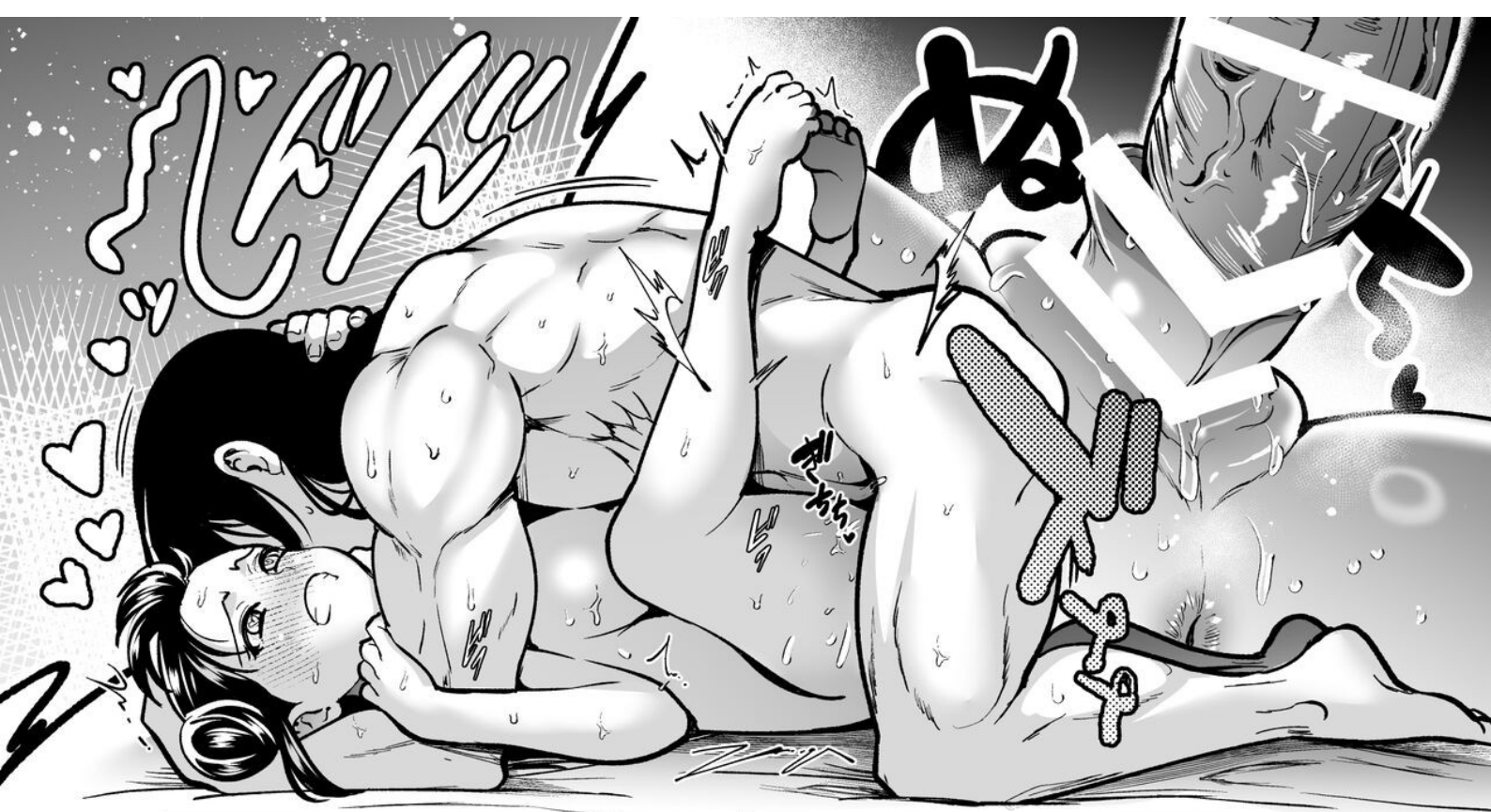
私...



満足いくまで
付き合うって
言っちゃったけど



はやまった
かも!?





だけど
心の中だけは

これは
修業の一環
なんだから
そんなこと
言っちゃダメ

快感でふやけた頭だと
思わず好きと言っ
てしまいたいになる



小龍様
大好き♡♡



好き

好き



大好きです
♡♡♡♡



ん?
…朝



—七日後



これじゃさすがに
いけない



もう何日一人で
籠っているん
だっけ…



…翠花

小龍様



せめてご飯を
しっかり食べないと



こここのところ
昼夜問わず
内丹に励んで
ただれた生活を
送ってしまったている



朝食は
まだいい

翠花も一緒に
もう少し寝よう



おはよう
ございます

私朝ご飯
作ってきますね

小龍様はまだ
寝ていてください

……



……うん

小龍様
かわいい!!!

ご飯はしっかり
食べなきゃ
ダメですよ

その後に寝ても
いいですから……
ね?

なに
なに



……



じゃあちよっと
待っていてくださいね
準備出来たら
お呼びします



粥に煮卵
野菜炒め…



小龍様
起きたんですか

お昼は小龍様が好きな
焼豚たっぷりのお饅頭に
しようかな



小龍様ってば
淋しん坊の
甘えん坊に
なっちゃいました？



翠花と毎日
交わっていたから

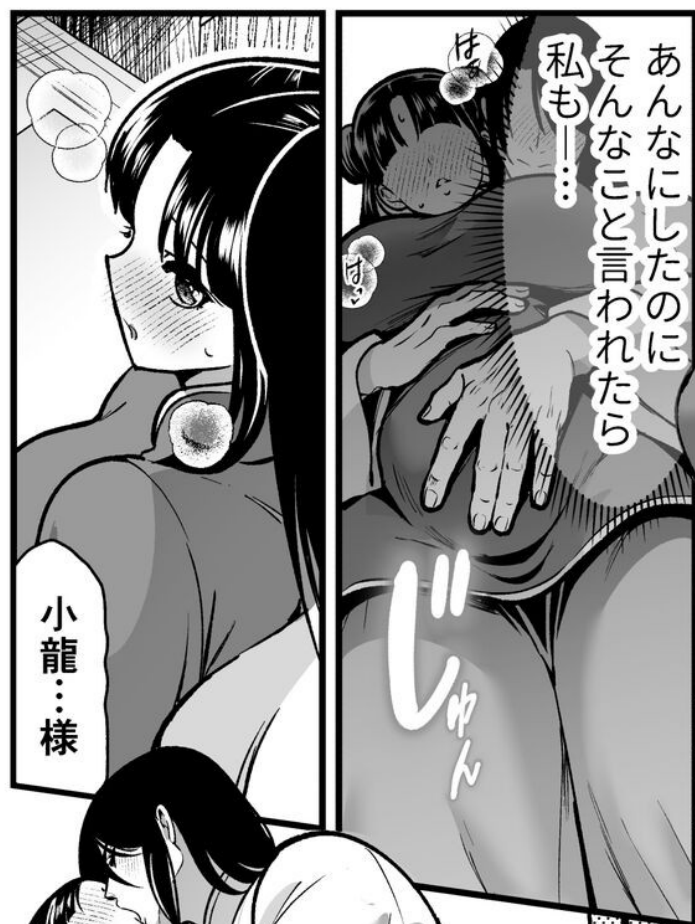
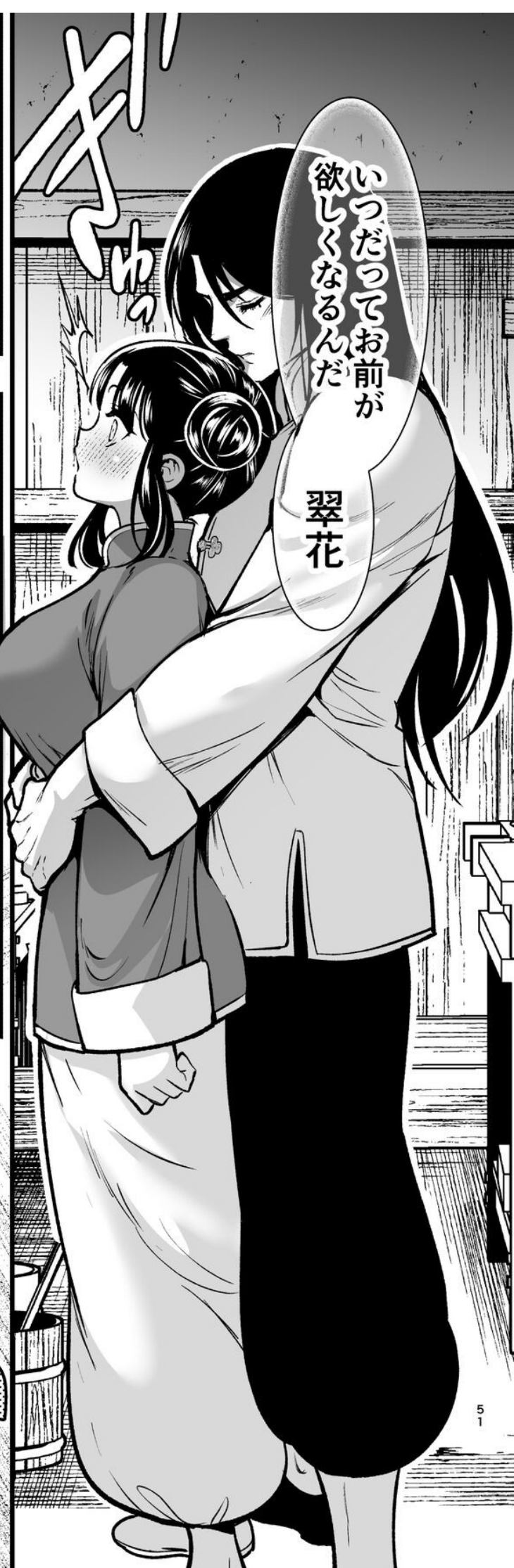
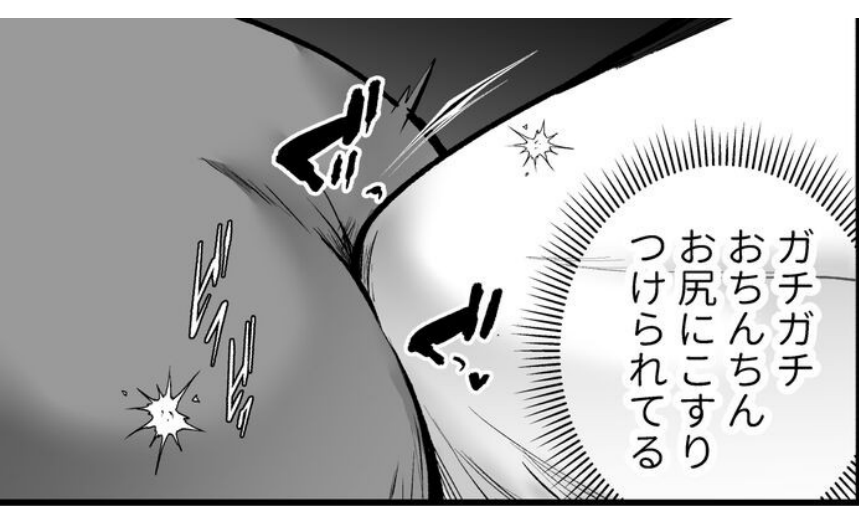
なんだか
一人は淋しくて
来てしまった

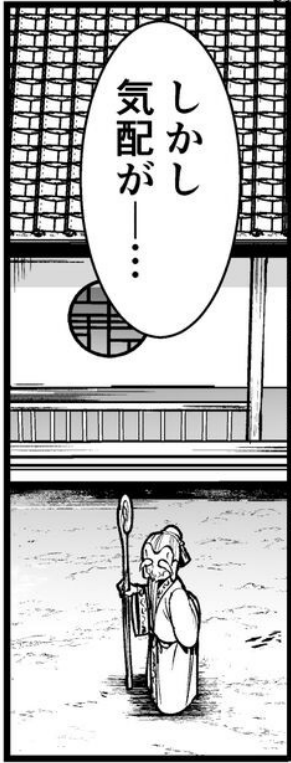


内丹は
知るとどうにも
人恋しくなる



…そうかもしれない





しかし
心配が……

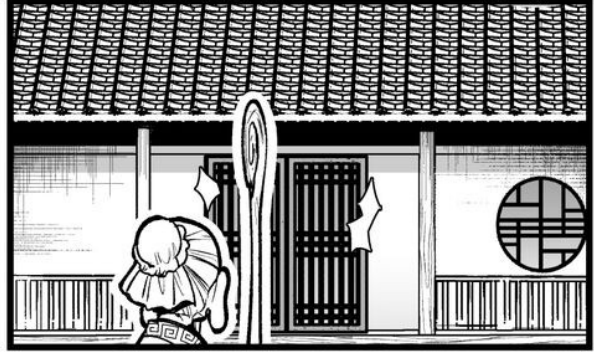
そろそろ
落ち着いた頃
じゃろうて



あれから小龍と翠花は
仲良くやっているかのう



まさか……



私また……っ

小龍様
激しいっ♡♡
奥に
きてます♡♡



お
少し前まで処女だったのに
随分いやらしい
体になったな翠花

何度でも
イっていいぞ♡♡

小龍様ツ

翠花ツ



老子様

えっ!!

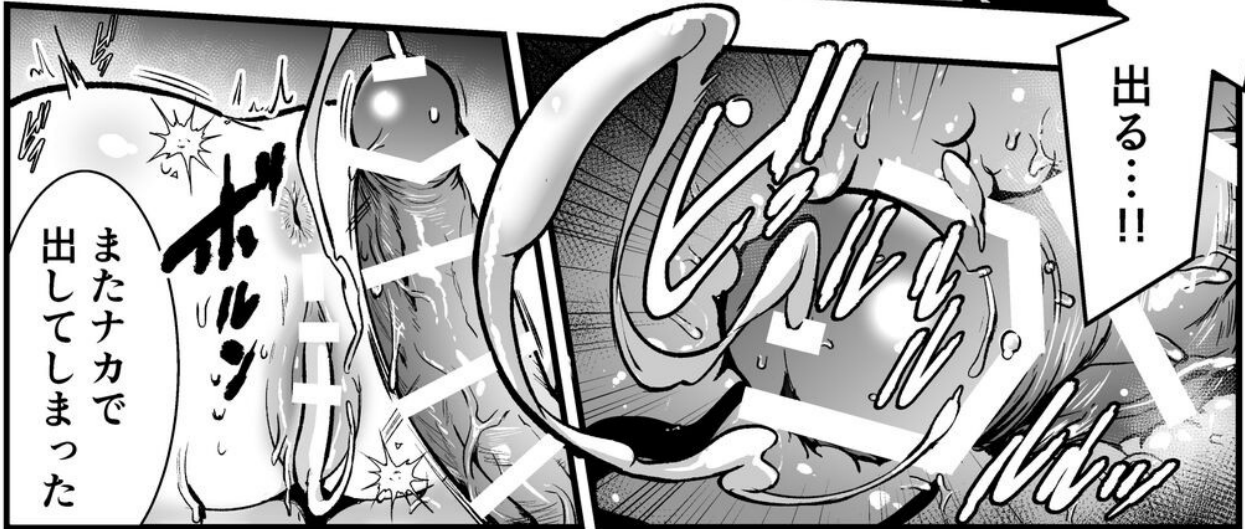


コラッ!!

朝っぱらから
何を盛っておる!!

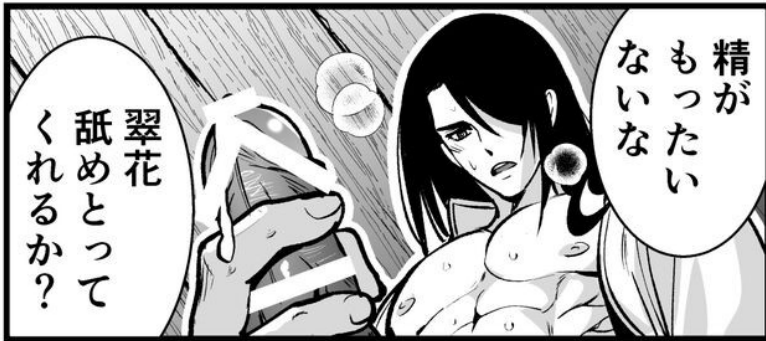


くっ急に
しまつて…



出る…!!

またナカで
出してしまった



精が
もった
いない
ない

翠花
舐めとつて
くれるか？



老子様内丹の
射精管理がまだ
うまくいかなくて…



ふあ♡♡

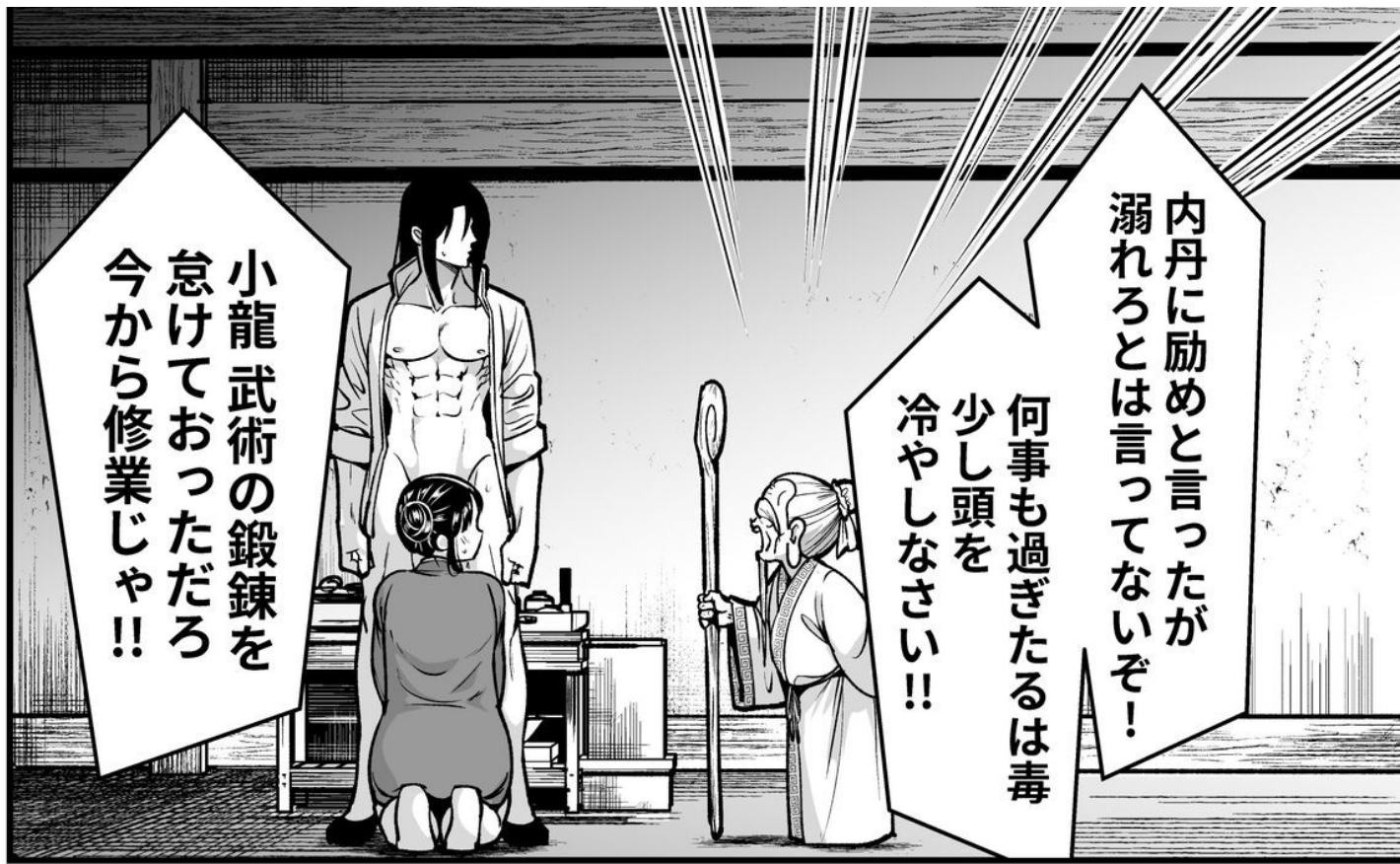


そこまでじゃ
二人とも!!



翠花の口の中
気持ちよすぎて
また大きくなって
しまうな

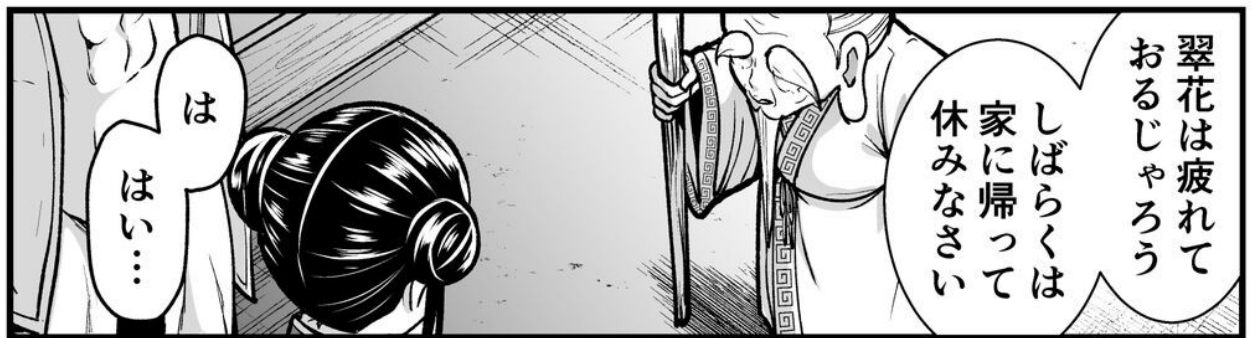
亀頭も竿もしつかり
しゃぶって上手だぞ



内丹に励めと言ったが
溺れるとは言ってないぞ!

何事も過ぎたるは毒
少し頭を
冷やしなさい!!

小龍 武術の鍛錬を
怠けておっただろ
今から修業じゃ!!



翠花は疲れて
おるじゃろう
しばらくは
家に帰って
休みなさい

は
はい…



いざ暇を貰って離れると
ぽっかり穴が
開いたように淋しい



そうは
言われても…



……幸せだったはず

はあ



貪り合うように
体を重ねた日々……

小龍様の修業のため
だったとしても
私は幸せだった



やっぱり
少し疲れたな……

ふう

叶わないことを
考えても
しかたないか



ちよつとだけ
ここで休もう



……もし恋人同士の
内丹だったら

もつと幸せに
なれたのかな……



おい
あれ見ろよ

あんなところで
女の子が寝てる



ん

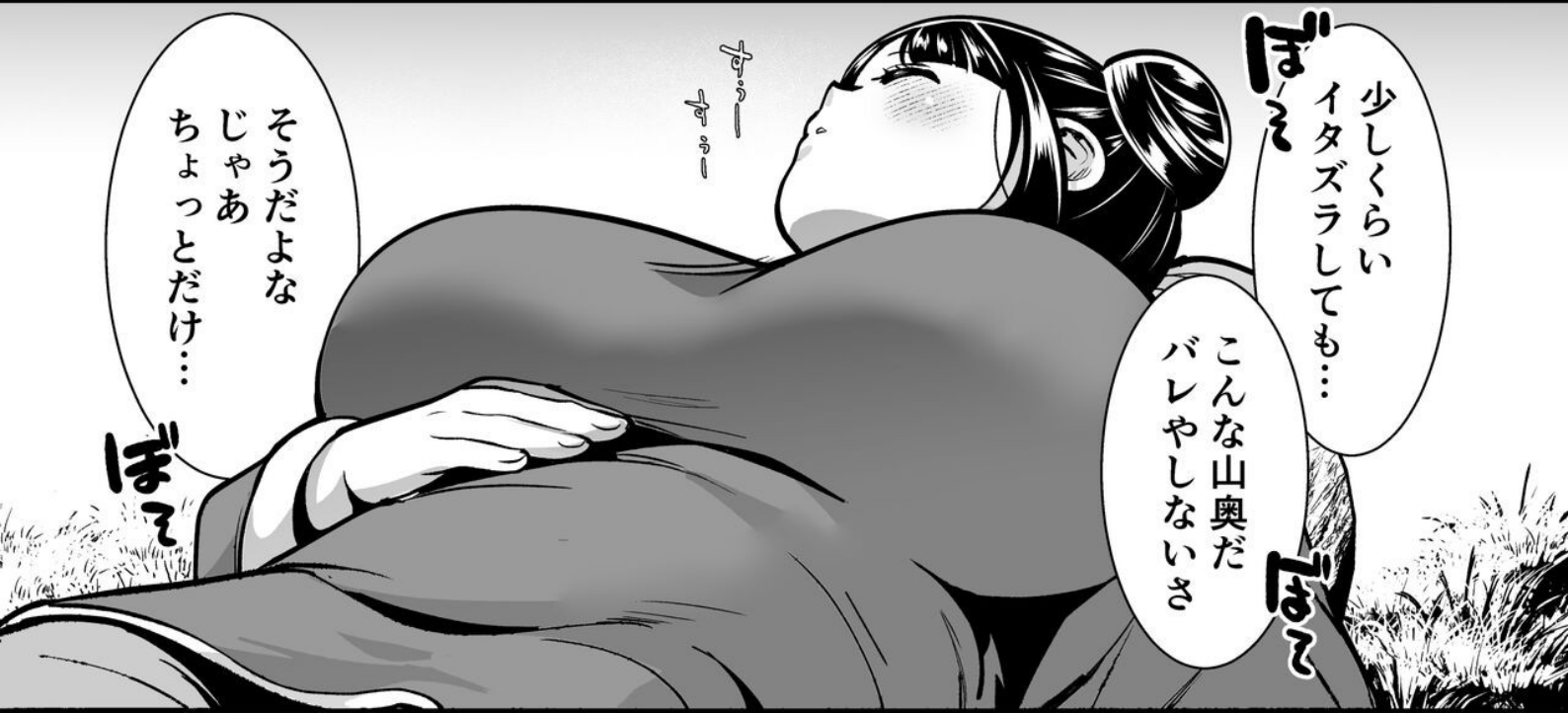


こりや翠花
じゃないか

丸太の上で
器用に寝てる

なんとも不用心だな
起こしてやろう







…小龍様？

お前たち
その子から離れる!!



まだ何も!!

俺たちは
翠花が寝ていたから
ただ起こそうと…





まだ…だと？

すみません
でしたー!!



あの…私



こんな怖い顔の小龍様
…初めて見た

…ごめんなさい



家に帰れと言われたのに
こんなところで
何をしている!!

君は今
襲われかけて
いたんだぞ!!







翠花と内丹を
行ってから

俺の情緒が
何だか
おかしいんだ



修業のはずの
内丹なのに

快楽に蕩ける
翠花を見たくて
欲望が溢れてしまう

えっ



他の男が翠花の近くにいと
血が沸騰しそうに
怒りが駆け上がって

悲しそうに泣いていると
心臓が鷲掴みされたように
痛くなる

翠花に関わる喜怒哀楽が
過敏になって
会いたくて居ても立っても
居られない

だからこうして
修業が終わると
直ぐに追いかけて
きてしまった

それって……



昔翠花が尊敬していると
言ってくれて
俺はそれに恥じない人間に
なろうとした…

だが未だ俺は
感情も制御できない
弱いままの男だ

自分が情けなく
恥ずかしい



それにある人を想って
感情が不安定になることは
おかしいことじゃないです

私だって
小龍様のことを考えて
気持ちが高浮いたり
沈んだり…

…翠花



そんなこと
ないです!!



小龍様は
十分に立派ですし
人の弱さを知らない
強いだけの人なんて
私いいとは思いません





私はそうですけど
小龍様は
どうでしょう?!

違ったらこのことは
気にしないで
ください!!



翠花



さきほど老子様に
言われたんだ


内丹に必要なのは
「愛」であると

そして
俺にはそれが
見えてないと



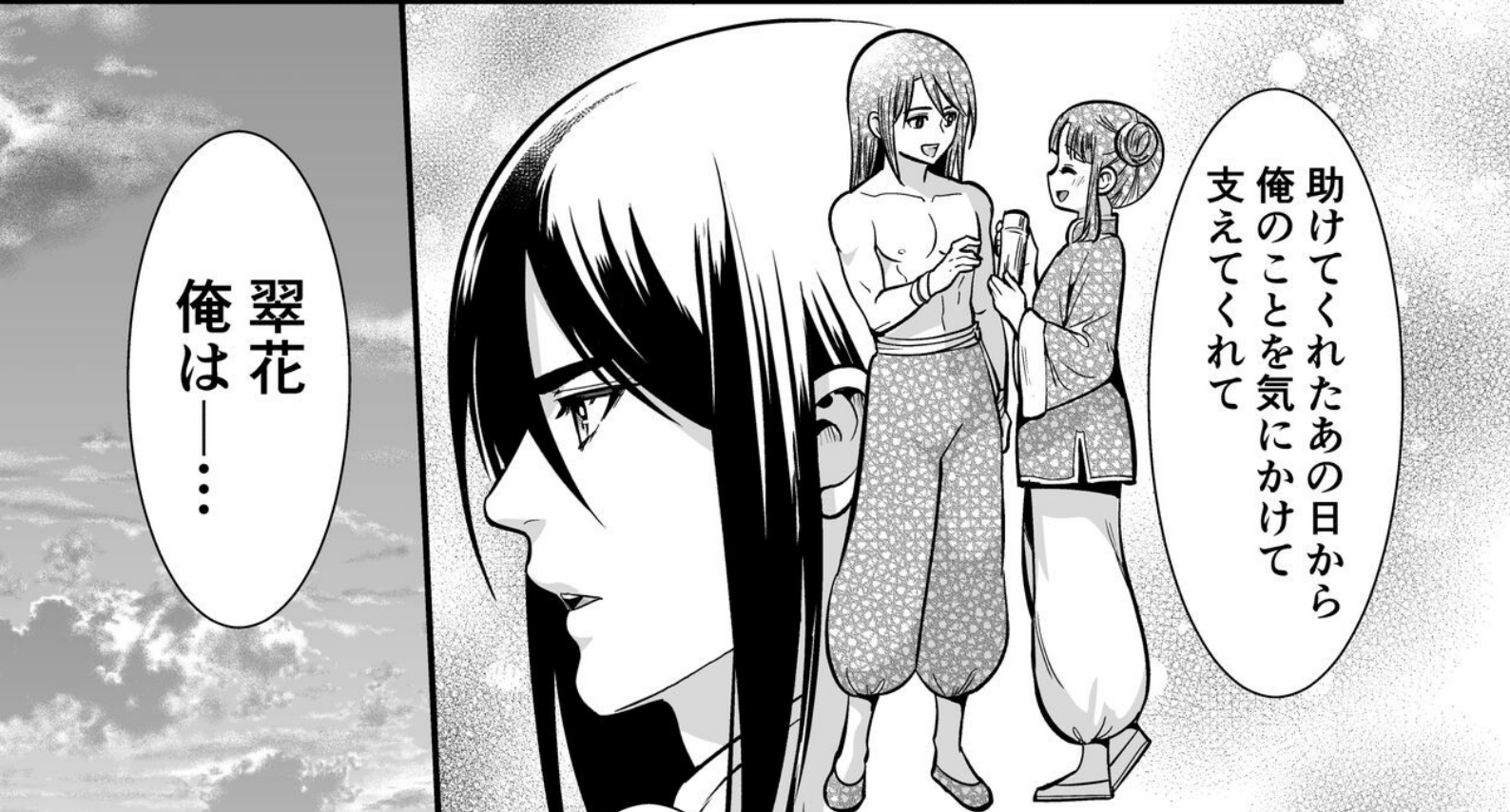
…つまり俺は
翠花に恋をしていて

翠花も俺に
恋をしている?




俺は体を
預けてくれた
翠花の想いを
きちんと考える
べきだった…

いや
それだけでは
ないな

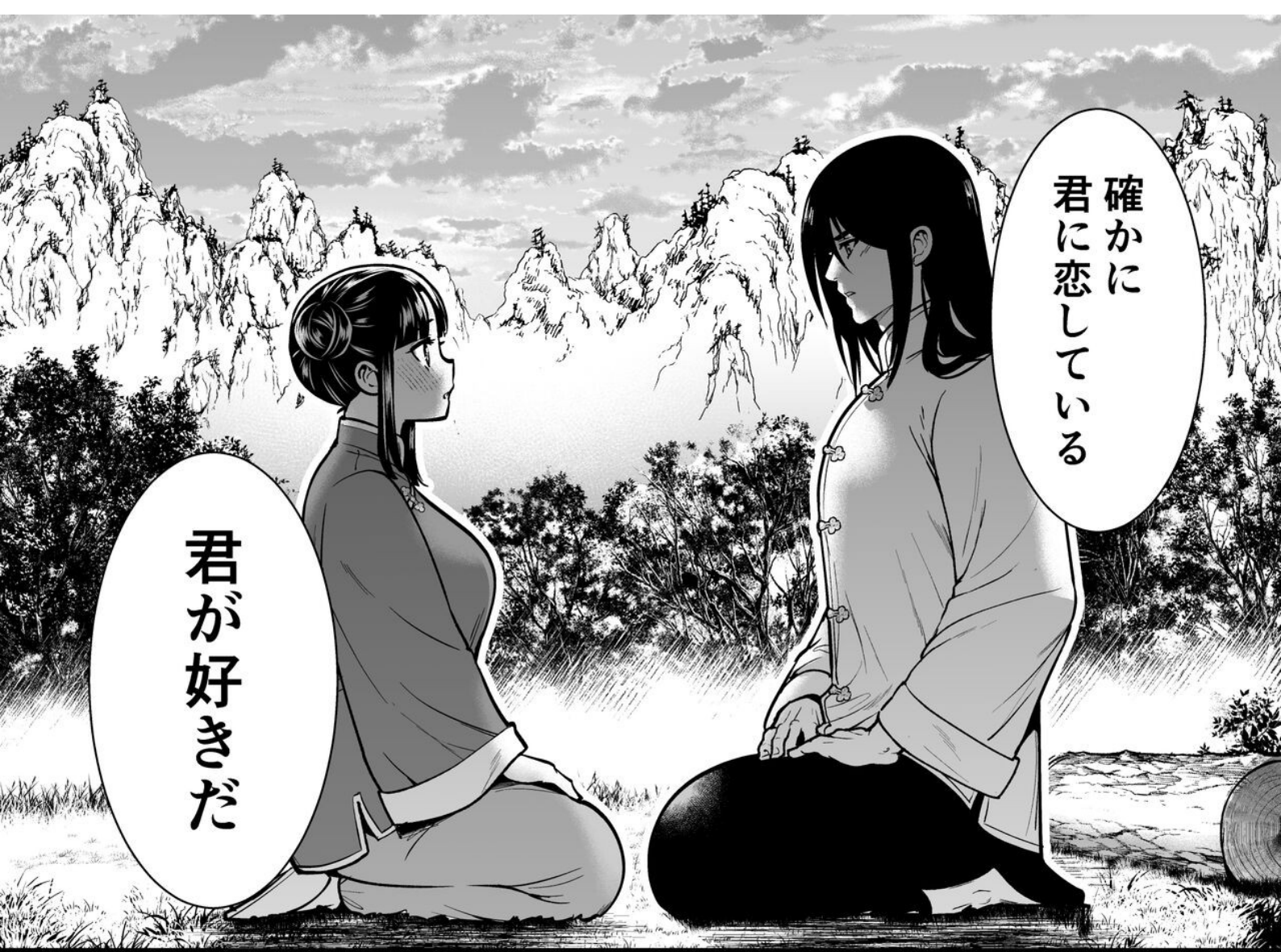


助けてくれたあの日から
俺のことを気にかけて
支えてくれて

翠花
俺は…



それにどんなに救われ
俺にとって大きな存在か
もっと早く気付くべきだった



確かに
君に恋している

君が好きだ



しゅ

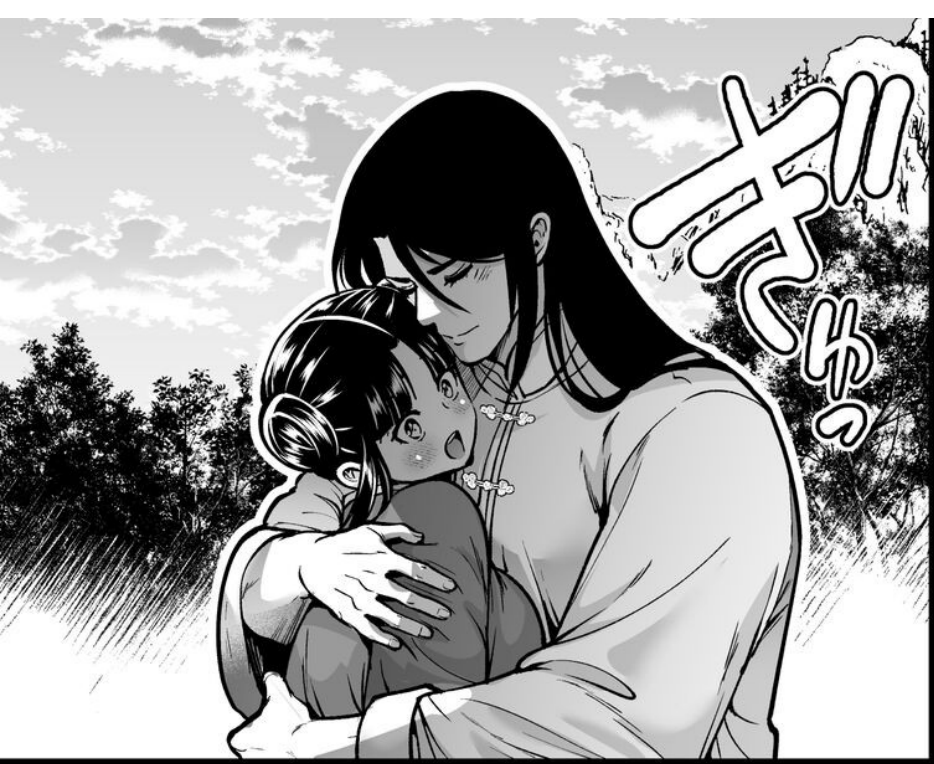


これは
嬉し涙です

だって小龍様と
両想いになれるなんて
思ってたから…



なぜ
また泣く!?





でもここは
外で…!!

我慢
出来ない…

ああ
人通りは
ほぼないし

もしかして
いますぐですか？



ダメか？

おちんちんで
おねだりは
弱いって…!!



もうちょっと
見えない所なら
いいですよ…





小龍様
好き…♡

好きです♡

翠花

俺も
好きだ



もう足に力が
入らなくて…



気持ちだけが
伝わっただけで

口付けが
今までよりも
ずっと気持ちいい



もうぐっしより
濡れているじゃ
ないか



立っていられない

大丈夫か？

は
はい…っ



こんなに
感じて…
こっちの方は



翠花は
可愛いな

いっぱい
可愛がって
やりたくなる



だって私小龍様が
好きだから
触れられるともう…



小龍様がお股に
むしゃぶり
ついてくる

びゅる
びゅる
びゅる
びゅる
びゅる



お豆を
ちゅるちゅる
吸われて

ひだひだの形も
確かめるように
隅々まで
舐め回されて



こんなの
気持ち良すぎて……



気持ち
よかったか？

ひゃい♡

そうか



翠花のこともっと
気持ちよくしたい



この上に
横になって

恋人同士の
内丹をしよう





夢みたいだけど
夢じゃない

ト
ト
ト



嬉しすぎて
体が甘く震えて

子宮が熱く
うずいちやう



私のナカを
小龍様でいっぱいにして



小龍様が
私の恋人…



挿入^{いれ}ただけで
イ^いってしまったか

あまりの締め付けに
俺もイキそうになった



俺も翠花が
好きだー

ぞッ

シヤオロンさま
しゅき...
しゅきれす



まだまだ未熟な俺に
愛を教えてくれ

激しい腰つきから
熱い思いが伝わってくる

私の子宮も
小龍様を求めて
さがってきて

これが本当の
内丹ツツ!!

おちんちんと
出会うたびに
意識が飛び
そうなくらい
気持ちいい

この時
想いが通じ合った2人の内丹は
限りなく道の^{タオ}真理に近づき

小龍の腰使いは
房中書『洞玄子』九状
そのものを体現していた

あーん♡
あーん♡
あーん♡

あーん♡
あーん♡

あーん♡
あーん♡
あーん♡



一、勇ましい武将が
敵陣を蹴散らすように
左右を攻め

二、野生の馬が谷川を
跳ねるように
擦りおろし突き上げる

あーん♡
あーん♡
あーん♡

アッ♡
アッ♡
アッ♡



七、驚いた鼠が
穴に逃げ込むように
素早く突き、急に挿す



六凍えた蛇が
穴に入り込むように
ゆくり腰を引き
ゆくり押し込む

翠花
かわいっ♡



八鷹が兔を
捕らえるようにして
亀頭をぐつと持ち上げ
足を絡める



九、大きな帆が強風に煽られたように陰茎を持ち上げすくとんと下へ落とす

お嬢様♡♡

小龍様♡♡

私もう…

二人で一緒に…





あま

…凄かった
♡♡♡♡♡

気持ち良すぎて
死んじゃい
そうです…♡

死なれては
困る
これからも
恋人として
睦み合いたいし
ともに生きたい

…小龍様



…ありがとう翠花
…大好きだ!!



…私ずっと
お傍にいます



また内丹
したくなる

場所かえて
しましょうね

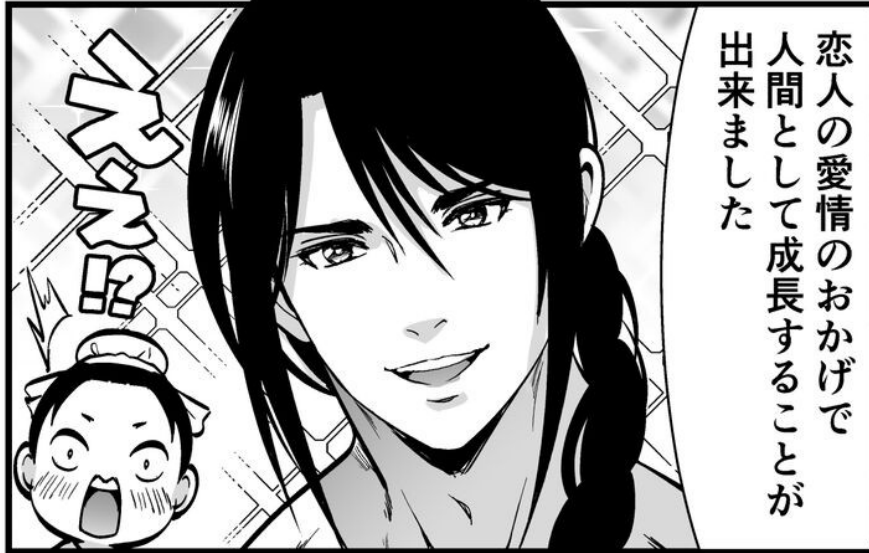




修業内容は
特に変わりませんが

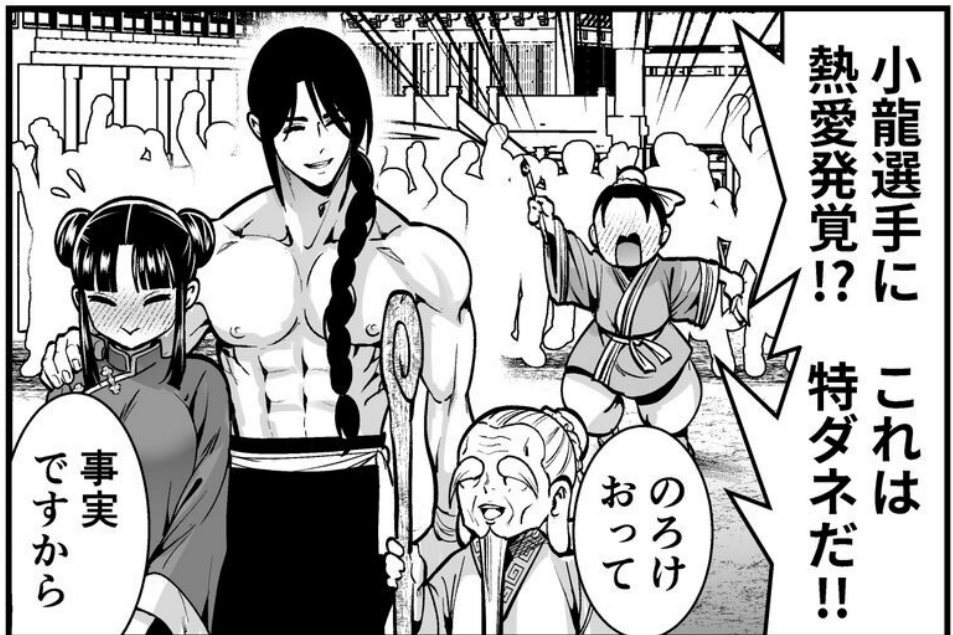
小龍選手!!
強さに磨きが
かかりましたが

何か特別な修業を
されたんですか?



恋人の愛情のおかげで
人間として成長することが
出来ました

翠花



小龍選手に これは
熱愛発覚!? 特ダネだ!!



のろけ
おって

事実
ですから



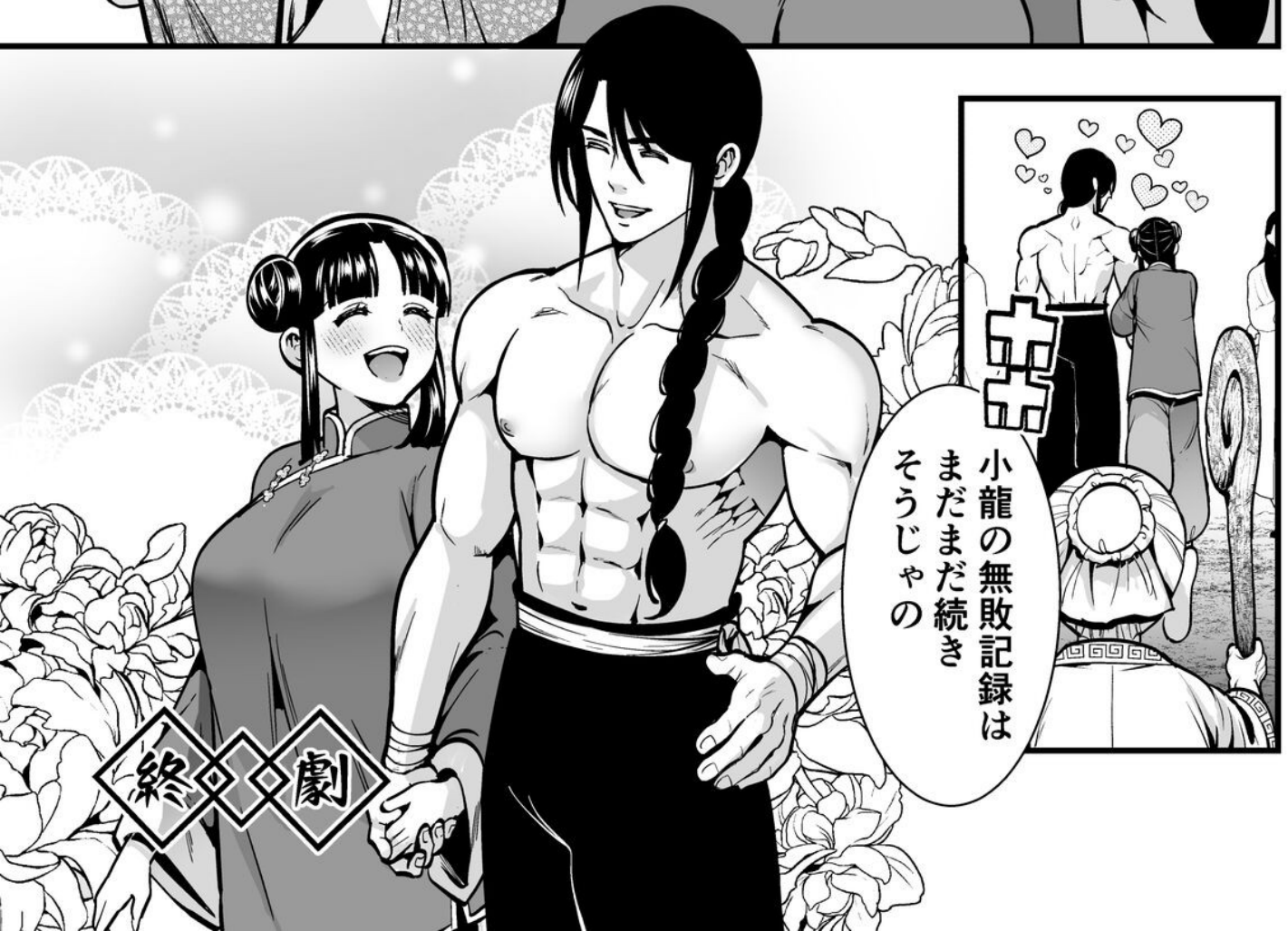
翌年—:

天下無双武術大会
今年の優勝も小龍選手
怒涛の六連覇ツ!!



…今夜たっぷり♡

優勝の褒美は期待していいか？



ホホ

小龍の無敗記録はまだまだ続きそうじゃの

終劇



pixiv F A N B O X で活動しています！→
<https://tamaki70.fanbox.cc/>



最強様の筆下ろし

～最強の男が童貞を捨てたら絶倫で野獣でした～

2024年7月10日発行

発行

Jewelry box

発行者

玉姫なお

<https://twitter.com/70tamaki>
<https://www.pixiv.net/users/7764805>

カバー・題字デザイン

nzworks様

<https://nzworks.tumblr.com/>

◆本作品の内容の一部あるいは全部を無断で転載・複製・複写・インターネットへのアップロードすることを禁止しています。
◆この物語はフィクションであり、実在の人物・団体・組織・企業様とは一切関係ありません。

参考文献：

マリリン満月(2015)『タオが開くSEXの扉 陰陽和合の性愛術』講談社
李浩宇(2023)『潜在能力を引き出す。房中術【実践編】 男女の性エネルギー』



最強様の筆下ろし

成人向

saikyou sama no fudeoroshi